

春風秋霜

江利川毅 県立大理専長



今年も残すところ10日余の。今年を振り返ると、明るいニュースも多くあったが、先々に対する不安も大きくなったように思う。

■陛下の退位

明るいニュースの第一は、今上陛下の退位の日が決まったことである。昨年8月に天皇陛下のお言葉があり、国民世論が大きく動き、有識者会議での議論を経て、全党一致で退位特別法が成立し、今月8日、退位の日は平成31(2019)年4月30日と閣議決定された。

何がベストの選択かは神のみぞ知るというのであるが、これも一つの選択肢だと思ふ。いずれにしても、近代民主国家になって初めてのことであり、滞りな

今年を振り返る

平和と寿命、深く意識

く進むことを祈りたい。元号の「平成」は、中国の古典、史記の「内平らかに外成る」、書経の「地平らかに天成る」に

在り方にも関わる根深い原因に よるものと思ふ。北朝鮮の金正 恩委員長も国民生活とのバラン スを逸しているのではないかと 欧州連合(EU)も結束が緩 む方向の力が強くなっているよ うに見え、中国やロシアも内部 にマグマがたまっていないかと 心配である。平和への希求、経 済の協調、環境・資源問題での 協力、いずれも課題を抱えたま 生涯必要経費も多くなる。増え

■終末医療 関連した話題であるが、11月 24日、埼玉県、日本医師会、埼 玉県医師会の主催で「超高齢社 会の医療を考える」人生最終段 階の医療を含めて」というシン ポジウムが行われた。埼玉県 医師会が概要を取りまとめて公 表すると聞いている。ぜひ一覽 いたしたい。また、埼玉県医 師会が別途行った県民へのアン

議論を深めるべき時期に来てい るのではないかと思ふ。 ■陛下の感動 今年のテレビから。行田市出 身の私にとって、「陸王」は感 動のドラマである。主役の足袋 屋の古い時代を母は知っている と言っているが、私は初めて耳 にした。このドラマの今後の展 開が楽しみである。人生の、そ して経営のギリギリのところ で、誠心誠意努力する。ずるど、 いい人間関係が生まれ、最善の 道につながっていく。そんな感 動を覚えながらテレビを見てい る。

由來する。平和を希求され、国 民とともにあられる今上陛下の 御世にふさわしい元号のように 思ふ。来年はさらに良い年であ ることを願つてやまない。

■大統領の言動

先々に対する不安は国際情勢 である。世界のリーダーである アメリカのトランプ大統領の言 動は、アメリカの大統領選挙の

■高齢者の定義 人生100年時代という言葉 が人口に膾炙(かいしゃ)され るようになったのも今年であ る。一月に日本老年学会・日本 老年医学会が高齢者の定義の見 直しを提案した。65〜74歳は准 高齢者、75〜89歳は高齢者、90 されるか注目したい。

た分を長く働いて自分で稼ぎ出 すようにしなければ、後輩世代 にツケ回すことになってしま ます。働き方について社会全体 で認識を新たにしなければいけ ない。安倍内閣は9月に「人生 100年時代構想会議」を設置 し検討を始めたが、幼年期から 老年期までのような提言が出

ケート調査では「患者として意 識がなくなっても家族に延命治 療を望むか」という問いに対し、 希望しないが67%、70歳代で85 %であった。タブー視されてき た終末期医療について個々人が 深く考えていることが推測され

私の好きな言葉の一つに「縁 専機妙(えんじんきみょう)」 がある。縁を大事にすると、そ の良い縁が次の良い縁を尋ねて いく。そういう縁の働き(機) が素晴らしい、という意味であ る。来年が皆様にとりまして良 い年でありますように「縁専機妙」 の言葉に載せてお祈りいたしま す。

ヘルでも人生の最終章について

(次回は来年1月15日付)